

つよいまち江南へ **安全** **教育** **福祉** **地域** **環境**

こんなことを進めています

- 1** 子育て支援の充実と、お年寄りが快適に暮らせる街へ
公共交通の再編
【いこまいCAR One (ワン)】
【いこまいCAR PLUS (プラス)】
【いこまいCAR NEXT (ネクスト)】の創設を！(私案)
- 2** 浸水被害の防止と道路冠水対策
- 3** 地域に眠る潜在的な魅力を発掘、江南を全国へ
- 4** 口腔検診の拡充から市民全体の健康を守る
- 5** 中心市街地にもしっかり公園整備
- 6** 元気な高齢者が活躍できる機会を創出
- 7** 水・食の安全と有機農法の推進、新規就農を応援する仕組みづくり

尾関あきらはあきらめない!

YouTube チャンネル
展開中!
「#どーする江南」



どうぞご覧ください♪
#どーする江南 or 
チャンネル登録してね☆

Profile


次世代に希望と実りを!
頑張る子育て世代代表!
尾関あきら (50歳) 2期

昭和 47年 8月 28日 生まれ (ねずみ年)
一級建築士 (自営)、インテリアコーディネーター
専門分野は都市計画・地域計画・まちづくり (+子育て支援)
一男一女の父。(中3・小5)
H29年度 宮田小 PTA 会長
R1年度 宮田小コミュニティスクール推進委員
H27年 4月 統一地方選、江南市議会議員に初出馬・初当選 (現在2期目)
H30年度 厚生文教委員会 (常任) 委員長
江南市水道事業経営審議会 副会長
R2年度 建設産業委員会 (常任) 委員長
R4年度 江南市上下水道事業経営審議会 副会長

お知らせ / お願い
市政に対する「ご意見」「ご要望」「ご質問」「地域的な課題」その他お困り事など、どのような事でもお気軽にご連絡ください。

後援会
宮田事務所 〒483-8361 江南市宮田町平和113 (自宅)
飛高事務所 〒483-8333 江南市飛高町泉130 MTGビル1F (おせき建築事務所内)

■ Tel・Fax : 0587-75-1983 ■ Mail : s14zx@owari.ne.jp
※留守電の際は、お名前・ご連絡先をお願いします。追って、折り返しご連絡差し上げます。

まちづくり江南市民会議 顧問
飛高ボランティア協議会 会員
こちらから各詳細がご覧頂けます▶ 

facebook 尾関あきら後援会ページもチェックお願いします♪

Konan City Assembly Report

江南市議会議員

尾関あきら

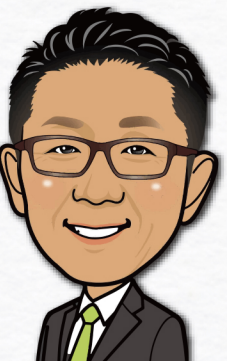
春
第24号
Spring



国土交通省提供 桜&フラワパーク&お囲い堤

Topics

- 議会ダイジェスト (一般質問)
- 今後の課題 (オゼキのめざすところ)
- LINEサポーターズクラブ始めました▶



ごあいさつ

江南市議会 尾関あきらです。

いよいよ3月議会も終わり、4/30で今任期も終えようとしています。

コロナ禍、マスクも解除され、新たな生活が始まります。

とはいえ、with コロナであることには代わりなく、

警戒を忘れることなく日々を過ごして参りましょう。

4月の改選期を皆さま方のご支援の元、何とか乗り越え次のビジョンを具現化していきたいと思っておりますので、何とぞご支援の程、よろしくお願いたします。



議会一般質問ダイジェスト

小中一貫校の導入取組について

2022.12月議会より

令和4年度江南市総合教育会議にて、小中一貫校について議題で取り上げたが…

▶ 「公共施設再配置と小中一貫校の導入について」を議題として協議し、会議では、財政課より江南市公共施設等総合管理計画の基本方針に定め施設総量の縮減を図るため、小中学校の複合化・統廃合を進めていく。また、魅力のある学校づくりの方法として、小中一貫校の導入について説明があった。各教育委員からは、それぞれメリットや課題について意見が述べられ、メリットとして、9年間の切れ目のない教育課程で取り組めること、保護者としても9年間通して子ども達を見守ってもらえる安心感があること、小学生と中学生の交流が増えることによる子ども達の心の育成が期待できることなどの意見があった。

保護者や地域住民の理解を得るため、1つ1つの課題を、時間をかけ丁寧に解決していく必要がある。

小中一貫校について、本市としてはどのように具体的な検討に入っていくのか。

▶ 総合教育会議で出された課題への対応を教育部局と協議を進め、小中一貫校の実現可能性について引き続き検討し、小中学校の統合、複合化に関しての方針を整理していく。

本市では、公共施設の再配置の検討と小中学校の統廃合（小中一貫校の導入）を同時進行で考えているにも関わらず、学校設置者側の考えと教育現場側の考えが未だ一致しているようには感じられない。

そのあたりの調整が必要だと思し、財政計画を元に考えている点から学校設置者側の考えをベースに教育現場側の理解を得て今後進めて行くべきだと思いが、どのようにお考えか。

▶ 本市の公共施設全体の延床面積約 21 万 2,000 平方メートルのうち、小中学校が全体の約 54%にあたる 11 万 5,000 平方メートルを占めており、その多くの校舎は建築後 50 年前後が経過し老朽化が進んでいる。予防保全改修により長寿命化を図ったとしても、何れ校舎の更新を行う必要があり、その更新時期は平準化させていく必要があるものと考え。小中一貫校の実現可能性については、中長期的な視点で校舎の更新に合わせ、魅力のある学校づくりの方法として、教育委員会と連携を図り教育現場の意見も伺いながら、統合、複合化への課題等を整理し検討を進めていく。

▶ 早急かつ段階的統合を提案したオゼキに対し市教育長は、宮田小・藤里小・宮田中の統合をやるなら一度でやりたい旨発言。瀬戸市であったモデル校のように、当市の宮田・藤ヶ丘地区においても、先事例として展開される可能性が高くなった。



動画配信中!

こちらからご覧頂けます



市内の不動産流通が停滞しない 条例制定を望む

2023.3月議会より

空き家問題において、線引き後と言われる 昭和 45 年 11 月 24 日以降に宅地となった、いわゆる「新宅地」の空き家について現在の状況と市の見解を問う。

▶ 空き家全体に占める市街化調整区域に存在する空き家の割合は、空き家全体の 62.0%。その内の 50.3%が線引き後に建てられている。流通については愛知県開発審査会基準 第 16 号の「相当期間適正に利用された住宅及び学生下宿のやむを得ない用途変更」の許可基準に対応していることから、流通は可能。との見解。



都市計画法第 34 条第 11 号及び第 12 号の条例区域に対する見直しを求める声が多いが…

▶ 総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画 との整合性を図り、必要に応じて検討する。また、開発区域の面積制限の下限値を下げる施策は、企業誘致担当課の要望を前提として、市の方針を整理し、その必要性について検討していく。

不登校児童・生徒の居場所づくりと 学校との連携について

2023.3月議会より

無理に子どもに登校を促すのではなく、民間のフリースクールに通わせる保護者もいる。この場合、学校は不登校の児童・生徒がフリースクールに通っていることを把握しているか。

▶ 担当が保護者に連絡入れたり、定期的に家庭訪問を行うなどし本人やご家族との繋がりがなくならないように努めており、その過程で本人の状況についても伺っています。また保護者からの相談等もありますのでそうした中でフリースクールに通っている、通うことを考えているなど個別に把握しています。



学校に通学しなくても条件によってはフリースクールの出席日数を学校の出席日数として認めることが出来るとお聞きしました。江南市ではそのような対応をとっているのか？

▶ 令和元年度に文部科学省から「不登校児童生徒への支援の在り方について」の通知が発出されており、フリースクール等の民間施設であっても、一定の要件を満たす場合は、校長はこれらの施設において相談・指導を受けた日数を指導要録上出席扱いすることができる、と通知されています。一定の要件としまして、保護者と学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること、校長が教育委員会と十分な連携を取り、相談・指導が個々の児童生徒にとって適切と判断した民間施設であることなどの要件が挙げられており、市内の小中学校としましては、本通知に基づき要件を満たしていると判断した場合は、指導要録上出席扱いしており、実際に出席扱いとした事例もあります。



Revitalize with Citizens! 市民と共にこの街の活性化を!

※ 本誌面に公費は一切使っておりません。